

京都エコポイントモデル事業の目的

- **家庭**でのCO2削減 (電気・ガス削減、太陽光発電等)にインセンティブを与え環境行動の促進を図る。
- **企業**のカーボンオフセットやCSR活動の一環として購入していただき、環境アピールに活用していただく。
- **地域**でのお買い物促進につなげる。
- **京都府全体**でのCO2削減意識を向上させ削減を進める。

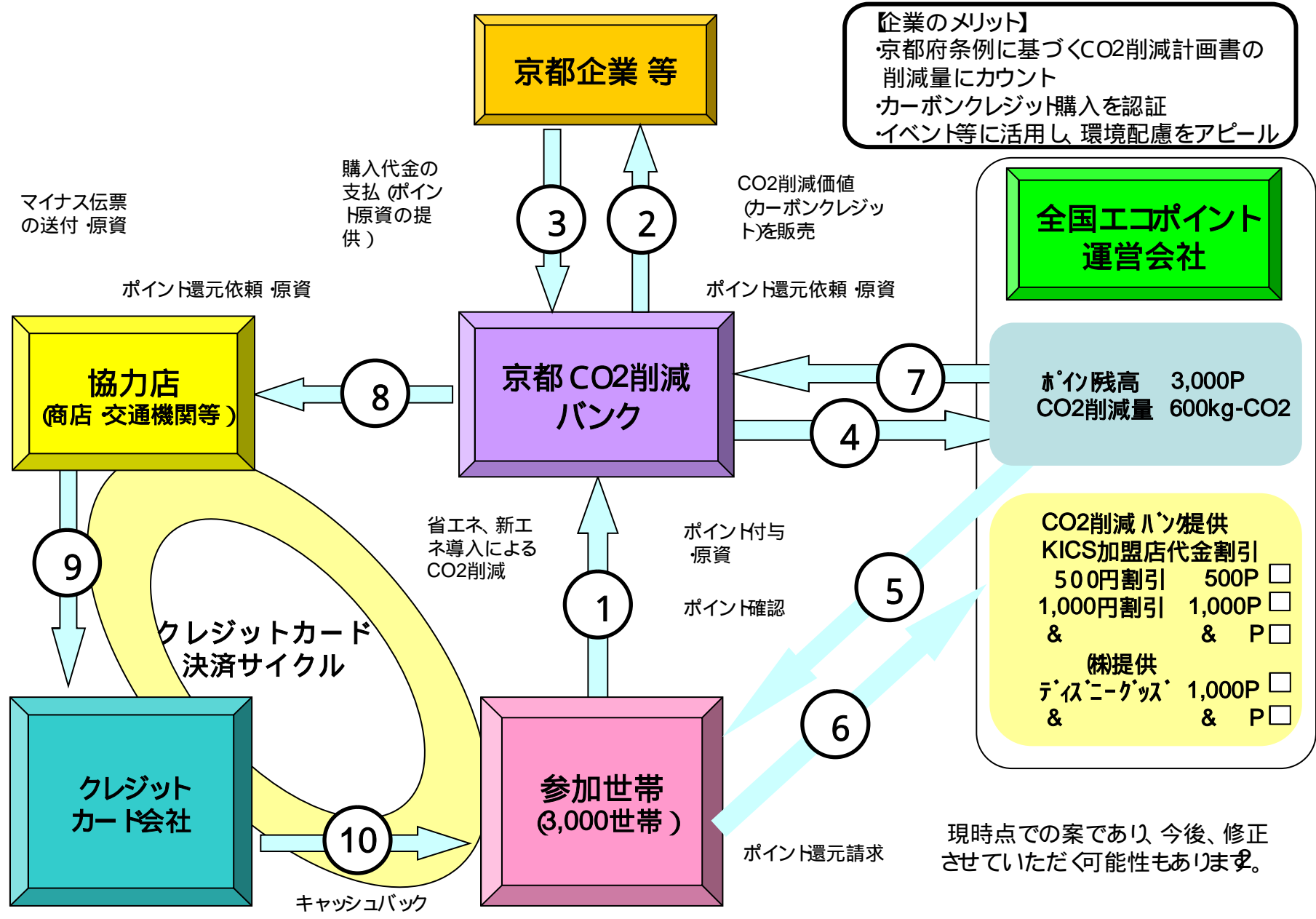
京都エコポイントモデル事業の概要

家庭	約3000世帯
企業	京都企業を中心に20～30社
協力店	商店街KICS約1200店、PiTaPa
運営主体	「京都CO2削減バンク」

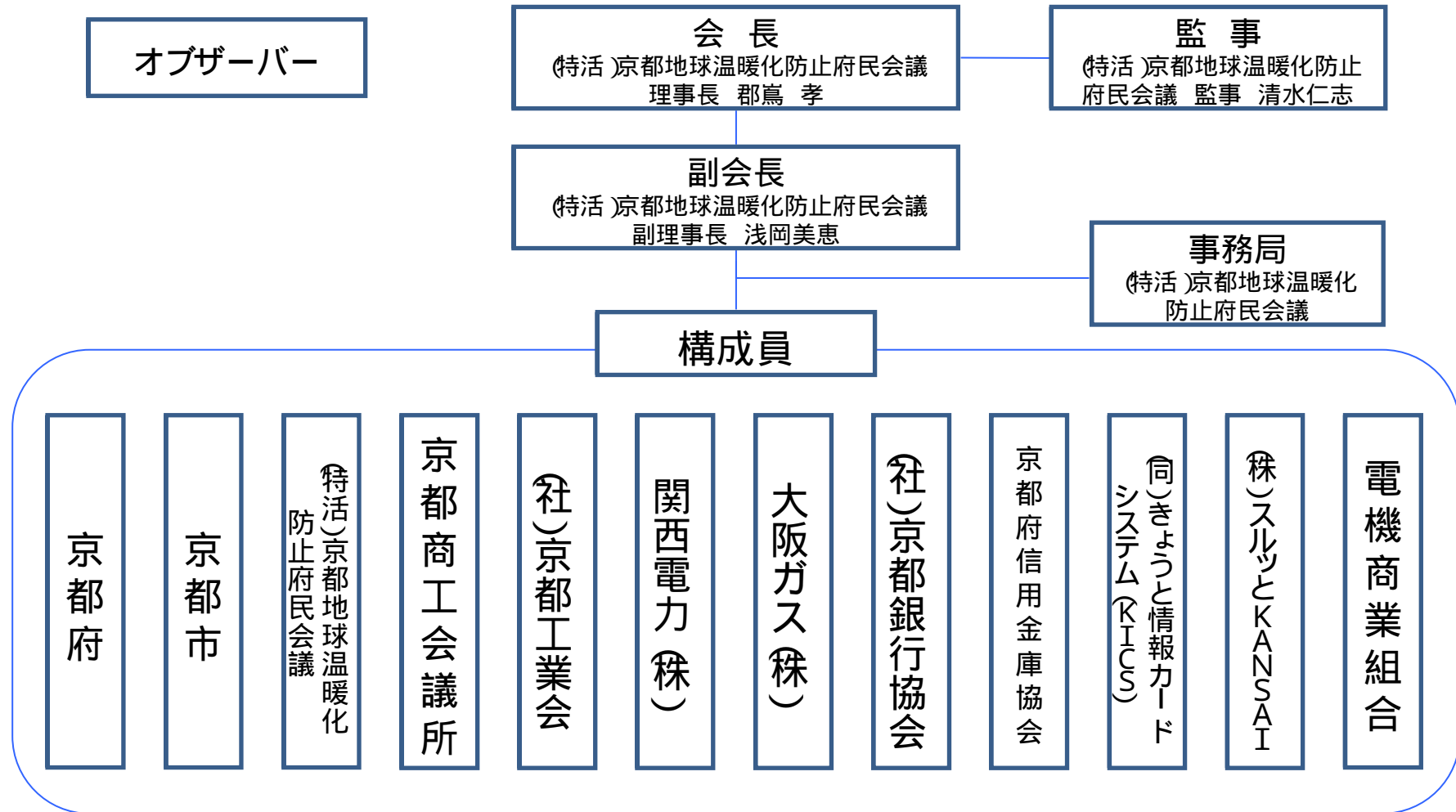
バンクの運営主体 京都環境行動促進協議会 設立(20年5月)
(京都府地球温暖化防止活動推進センター、商工会議所、
工業会、金融機関等関係団体により構成)

企業・家庭募集開始 平成20年8月～

京都エコポイントモデル事業基本スキーム



京都環境行動促進協議会(京都CO2削減バンク)の組織体制



府条例の補完的措置としてのカーボンクレジット活用

京都府地球温暖化対策条例に基づく排出量削減計画書の提出事業者が、計画書中のその他削減(補完的措置)として、家庭における温室効果ガス排出量の削減分(カーボンクレジット)の購入によってカーボンオフセットした量を差引記載することを認める。

<削減計画書(抜粋)>

温室効果ガスの排出量等		排出区分	基準年度(実績) ()年度 (二酸化炭素換算)	目標年度(計画) ()年度 (二酸化炭素換算)	増減率 (計画)
A	事業所等排出区分		t	t	%
B	輸送車両排出区分		t	t	%
C	その他排出区分		t	t	%
	排出合計		t	t	%
目標設定の考え方					
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等		対策等の区分	取組量等	目標年度(計画) (二酸化炭素換算)	
	森林の保全及び整備	(整備面積)	ha	(吸収量)	t
	府内産の木材の利用	(利用量)	m	(削減量)	t
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(発電量)	kwh	(削減量)	t
	は熱の供給	(熱供給量)	GJ	(削減量)	t
	グリーン電力の購入	(購入量)	kwh	(削減量)	t
	家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	(削減効果分)	t	(削減量)	t
	削減量等合計			t	
	差引排出量 (排出合計・削減等合計)		t	t	%
			基準年度(実績)	目標年度(計画)	増減率(計画)
			t	t	%

* 排出量からの差し引きを認める。